

蜷川実花展 はじまりの光

9月12日(土)

川口市立美術館グランドオープン

川口市立美術館は、国内外で高い評価を受け、日本を代表するアーティストとして活躍する蜷川実花による開館記念特別展を開催します。

川口市は、父である演出家・蜷川幸雄の出身地で、蜷川実花自身も幼少期を過ごした創作の原風景といえるゆかりの地です。

本展では、蜷川実花の感性の原点である川口で、創作活動の出発点である「写真」を軸に、家族の記憶を織り交ぜながら自身の創作の核心へと迫ります。



蜷川実花 / にながわみか 写真家・映画監督・現代美術家

写真を中心に、映画、映像、空間表現も多く手掛ける。

木村伊兵衛写真賞ほか数々受賞。2010年ニューヨークのRizzoliから写真集を出版。

「さくらん」(2007年)、「ヘルタースケルター」(2012年)など5本の長編映画、Netflixオリジナルドラマ「FOLLOWERS」(2020年)を監督。

これまでに写真集120冊以上を刊行、個展150回以上、グループ展130回以上と国内外で精力的に作品発表を続ける。



First Light, 2026

©mika ninagawa / bookshop M Co., Ltd.
/ Courtesy of Tomio Koyama Gallery

特別展の内容

〔第一章〕

約30年にわたり断続的に撮り続けてきたセルフポートレート《Self-image》の中から、本展で初公開となる作品を含む作品群や、最晩年の父との時間を記録した《うつくしい日々》などを通して、写真家・蜷川実花の表現の軌跡を紹介します。

〔第二章〕

父の書斎の移設展示や元女優でキルト作家の母・蜷川宏子のキルト作品のほか、若き日の両親のアルバムから展開する新作シリーズ《First Light》を通して、自らを形づくってきた家族や川口とのつながりに焦点を当てます。



〈書斎〉©ニナガワカンパニー



The days were beautiful, 2017

©mika ninagawa / bookshop M Co., Ltd.
/ Courtesy of Tomio Koyama Gallery

チケット情報

	オンライン／前売券	当日券
一般	1,800円	2,000円
大学生	1,300円	1,500円
高校生	800円	1,000円
中学生以下	無料	

オンラインで購入

チケット販売サイト



窓口で購入(前売券) ※9月11日(金)まで
販売場所

- 文化推進室(第二本庁舎3階) 平日 9:00~16:30
- 川口総合文化センター・リリア2階 チケットセンター
火~日曜日 10:00~17:00
- イオンモール川口1階 michinowa ネットヨタ東埼玉
全日 10:00~21:00

窓口で購入(当日券) 販売場所 川口市立美術館2階

※チケットは、オンラインまたは前売券の購入がおすすめです。

会期 9月12日(土)
~11月29日(日)

開館時間 10:00~18:00
10・11月の第2・4金曜日は20:00まで
(入館は閉館30分前まで)

休館日 月曜日
(祝・休日の場合は翌平日)



川口市立美術館
ホームページ